

あいにくだより 8月

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (STSS)

溶血性レンサ球菌(いわゆる溶連菌)には、多くの種類があり、一般的には急性咽喉炎(のどの風邪)などを引き起こす細菌として知られていますが、まれに引き起こされることがある重篤な病状として、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)が知られています。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、突発的に発症し、敗血症などの重篤な症状を引き起こし急速に多臓器不全が進行することがある重症感染症であり、その死亡率は約30%とされていますが、重症化するメカニズムはまだ解明されていません。



症状は？

最初は、腕や足の痛みや腫れ、発熱、血圧の低下などから始まることが多く、その後、組織が壊死したり、呼吸状態の悪化・肝不全・腎不全などの多臓器不全を来し、場合によっては数時間で、非常に急速に全身状態が悪化します。

治療は？



適切な抗菌薬の迅速な投与、必要に応じて緊急手術による広範囲の病巣の除去、集中治療室での全身状態の管理、などを行います。

なぜ最近、増えているの？



劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者数が増加している理由は必ずしも明らかではありませんが、2023年の夏以降、A群溶血性レンサ球菌による急性咽喉炎の患者数が増加していることが要因の一つである可能性があると考えられています。



どのようなことに気をつける？

劇症型溶血性レンサ球菌感染症に限らず、多くの感染症の予防には、手指衛生や咳エチケット、傷口の清潔な処置といった、基本的な感染予防対策が有効です。

また、発熱や咳や全身倦怠感などで食事が取れないなどの体調が悪いときは、かかりつけの医療機関などを受診しましょう。

9月のわくわくサークル「お月見のタペストリー作り」

日時：令和6年9月25日(水)

10:00~11:30

場所：西庄公民館1階和室



SAKAIDE_AIKUKAI

愛育会の
Instagram

坂出市愛育会